

産業カウンセラー養成講座 面接の体験学習におけるねらいと目標（受講者用）

過程	導入期	初期	中期		後期		修了期
			中期Ⅰ	中期Ⅱ	後期Ⅰ	後期Ⅱ	
時間	5時間程度	21時間程度	14時間程度	21時間程度	21時間程度	15時間程度	7時間程度
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングのイメージづくり ・受講者相互のリレーションづくり ・面接の体験学習参加への動機づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴の基本的態度と技法の理解 ・自己理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴の基本的態度と技法を実践する ・自己理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング・プロセスの基本的理解 ・産業カウンセラーとしての自己理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスの各過程で傾聴を土台としたかかわりを体験的に学ぶ ・産業カウンセラーとしての自己理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング・プロセスを実践する ・産業カウンセラーとしての自己理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す産業カウンセラー像を実現するための、自己の目標と課題を認識する
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングのイメージを持つ ・他の受講者と親しくできる ・面接の体験学習に参加することの意義を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの聴き方と日常の聞き方との違いを理解する ・カウンセラーの基本的態度の中核三条件について体験的に理解する ・傾聴の技法について体験的に理解する ・自分の態度・聴き方のクセに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセラーの基本的態度の中核三条件について体験的に理解を深める ・クライアントの状況に応じて、適切に技法を活用し、クライアントとリレーションがとれる（ラポール形成） ・自分の態度・聴き方の特徴について気づき、その意味を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントへの継続的なかかわりを通して、プロセスを理解できる ・クライアントの話の内容を的確に理解し、問題を見立てることができる ・プロセスの体験を通して産業カウンセラーとしての自分のあり方を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスの各過程において、傾聴を土台としたかかわりができる ・クライアントへのかかわりについて適切な自己評価と自分の課題が自覚できる ・産業カウンセラーとしての自分のあり方を自覚できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの見立てができ、問題を把握し、カウンセリングの方針を立て、それを実践できる ・面接の体験学習を通して、自分を振り返り、産業カウンセラーとしての自分のあり方を再確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業カウンセラーの立場や役割について理解し、目指す産業カウンセラー像を他者に説明できる